

2016年度事業計画

【0】 基本方針・重点課題

1. 昨年度までの施策、実績を踏まえ、各事業の発展を図る。
2. 来年の韓国での世界エスペラント大会を国内エスペラント界に刺激を与える好機と捉え、新たな展開を図る。
3. 本会ウェブサイトの内容充実を図り、制作した各種の広報ツールの活用を進め、エスペランティストを増やし、さらに会員増に繋げられるよう努める。

【1】 エスペラント普及事業（担当：普及推進部）

【1.1】 基本事業

1. 国内外のエスペラント組織と連携し、エスペラントについて知らせ、エスペランティストを増やす普及活動を行う。
2. 広域団体会員、地域団体会員、専門団体会員、また個人会員との連携を強化し、会員以外の団体、個々のエスペランティストを含めた協働の輪を広げ運動の発展を図る。
3. 第103回日本エスペラント大会（滋賀県近江八幡市）の開催を機に、特に一般社団法人関西エスペラント連盟（KLEG）と協働し、近畿圏での普及に力を入れる。
4. 広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動を進める。

【1.2】 エスペラント普及推進事業の計画

1. 国内のエスペラント運動の現状を把握し活性化を図る。
  - (1) 広域、地域、専門の各団体に対し、2016年の活動に関する情報の提供を依頼し、それを2017年4月号の『エスペラント／La Revuo Orienta』（RO誌）に「2016年エスペラント運動年鑑」として発表する。
  - (2) 「運動年鑑」の作成過程での各団体との交信を通して、全国的な活性化を目指す。
  - (3) 日本エスペラント大会中に、できるだけ多くのエスペラント団体（地域エスペラント団体等）からの参加を得て「エスペラント会懇談会」を開催し、情報の共有、経験交流、運動の方向の確認を図る。
  - (4) エスペラント界の外部の団体との協働を進める。
2. 各エスペラント団体との関係をより緊密にする。
  - (1) 地方エスペラント連盟の大会などに理事が出席し、各地のエスペラント運動の状況について意見交換を行うように努める。
  - (2) 一昨年に発行された『JEIの事業に対する意見集』（RO誌号外2014.6）の結果を運動に活かす。
  - (3) エスペラント会連携推進委員会のもと、「エスペラント会懇談会」やそのメーリングリストの運営、ウェブ資料集の整備に努める。
3. 会員の拡大・定着に努める。
  - (1) JEIの新しい会員を増やすよう、また、これまでの会員が継続していくよう、あらゆるところに目を配りながら施策を立て実施する。
  - (2) 「青年エスペラント企画支援金」制度を活用して、青年層のエスペランティストを育成・支援する。
  - (3) 来日する外国人エスペランティストに地方会を訪問してもらえるように支援する。そのための情報共有の仕組みを検討する。

- (4) 活動維持、活性化のための援助を必要とするエスペラント団体を支援する。
- (5) エスペラント団体に団体会員制度の利点や重要性を知ってもらい、未加入団体への参加の要請を継続する。
- (6) 会費、会員制度についての検討を継続する。

#### 4. その他の取り組み

運動に功績があったエスペランティストに「小坂賞」を授与し、内外にその功績を広める。

### 【1.3】エスペラント広報事業の計画

1. 刷新された本会ウェブサイトにおいて、エスペラントに関する、また行事・講習会等に関する情報を、よりわかりやすく一般およびエスペランティストに提供できるよう内容の充実を図る。
2. ウェブサイト以外にもフェイスブック、ツイッター、ユーチューブ等の活用をさらに進め、より広い層への効果的な広報に努める。
3. マスコミ向けのニュースリリース「エスペラントの今」の定期的な発行を行う。
4. 広報材料の拡充。
  - (1) エスペラントに関する広報材料（チラシや展示用パネルなど）の提供と利用の呼びかけを進める。ウェブ上の共有書庫をさらに充実させる。
  - (2) エスペラントを効果的に紹介する外国の動画を紹介、また短い動画を制作し、一般への広報に活用する。エスペラント紹介動画コンクールは隔年で行うため、来年度の同コンクールの準備を進める。

## 【2】国際交流事業（担当：国際部）

### 【2.1】基本方針

1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会（Universala Esperanto-Asocio = UEA）の日本における国別代表組織として推進する。また、UEAのアジア運動委員会（Komisiono de UEA pri Azia Esperanto-Movado = KAEM）と協働する。事業には、日本UEA委員、UEA delegito（都市別代表）、KAEM委員やKAEM協力者が協働して当たる。
2. 日本のエスペランティストが行う国際的なエスペラント活動を支援する。
3. 外国のエスペランティストに日本の各種催事への参加を促す。

### 【2.2】国際交流事業計画

1. 2016年に開催される国際的なエスペラント大会へ参加、また協力を呼びかける。青年層へ行事の広報をJEIウェブサイト等で行い「青年エスペランティスト国際行動支援金」制度の活用を積極的に呼びかける。
  - (1) 第101回世界エスペラント大会（スロバキア/ニトラ、7月23日～30日）。同大会へUEA委員を派遣、Movada Foiro（エスペラント運動展）出展および参加旅行団を関連事業部と協力して実施する。
  - (2) 第72回国際青年エスペラント大会（ポーランド/ブロッワフ、7月16日～23日）。
  - (3) 第8回アジアエスペラント大会（中国/福建省泉州市、11月3日～6日）。
  - (4) 第35回東アジア青年エスペラント合宿（Komuna Seminario inter Orient-Aziaj Junuloj）開催予定地：日本。
2. 第103回日本エスペラント大会（【6.2】参照）中の関連行事—アジア活動分科会、UEA Delegito 分科会、Pasporta Servo（国際ホームステイ網）分科会—を開催する。近隣アジア4か国の代表組織に同大会への招待状を送り、実行委員会と協働する。
3. 日本のエスペランティストへの支援として、国際文通サービスを継続する。

4. 国内のUEA delegito 間の連絡を図り、また不在地域にはdelegitoを置くように働きかける。
5. 各地のエスペラント団体の姉妹都市交流を支援する。

### 【3】研究教育事業（担当：研究教育部）

#### 【3.1】基本方針

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成および指導力強化、エスペラント入門のための資材提供、学校におけるエスペラント授業への支援、エスペラント界外でのエスペラント教育に関連する事業の支援等に取り組む。特にウェブによる学習環境を充実し、若い学習者への支援を強める。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組み、増強を図る。
3. ハヶ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、エスペラント運動の発展に寄与する。本施設を内外のエスペランティストおよび一般に開かれた施設として有効利用する。

#### 【3.2】研究教育事業の計画

1. エスペラント集中学習の機会として、第49回エスペラントセミナリーオを埼玉県で開催する（4月29日～5月1日）。
2. 講師養成講座：「ドリル式エスペラント入門」を教材として教える想定での講座を開催する。
3. JEIで常設講座を開設する（2017年第102回世界エスペラント大会（韓国/ソウル）を意識した入門講座）。
4. 学力検定試験の受験機会を増やし、Komuna Eŭropa Referenckadroに基づく試験（KER試験）を実施する。KER試験は国際標準のCEFR（Common European Framework of Reference for Languages ヨーロッパ言語共通参照枠）試験のエスペラント版である。
5. 学力検定試験の試験委員を増員する。
6. 学校でのエスペラント授業支援の他に、校外での学習グループの支援も行う。
7. ウェブ講座の学習支援事業（支援チーム発足済み）を軌道に乗せ、その他のウェブ講座の支援についても考える。
8. 今後のエスペラント教育の新たな体制作りの検討を始める。
9. 日本エスペラント大会で研究発表会および文芸コンクールを実施する。普段からの情報収集に努め、発表を促す。
10. エスペラント研究増強のための検討を始める。

#### 【3.3】ハヶ岳エスペラント館における事業計画

1. 利用者500人（宿泊利用400人、日帰り利用40人、運営委員利用60人）を目標にする。そのために、
  - (1) 4月9日（土）から11月18日（金）まで開館し、この間週末と夏季は宿直当番を置き、利用者の便宜を図る。
  - (2) 宿泊に応じて受け取る寄付金の目安を1泊目2,500円、2泊目から1,000円とする。
  - (3) 運営体制の強化：最低15人の運営委員を確保する。運営委員の宿直任務を軽減できるよう、ライセンス所持者を増やし、当直ボランティアを募集する。
  - (4) 国内外のエスペラント界と地元へエスペラント館の宣伝を強める。
  - (5) 建物の保全に努め、絶えず整備を行う。
  - (6) エスペラント関係の展示を通年で行う。
2. 次の行事を主催する。

- (1) 第18回エスペラント漬け合宿 (NEK 8月27日～29日)
- (2) 「桜狩り八ヶ岳エスペラント館の日」 (4月22日～24日)
- (3) 「紅葉狩り八ヶ岳エスペラント館の日」 (9月17日～19日)

#### 【4】エスペラント雑誌の刊行事業 (担当：編集部)

##### 【4.1】基本方針

1. 『エスペラント／La Revuo Orienta』 (RO誌) を下記の方針で発行し、エスペラントの普及発展に資する。
  - (1) エスペラントを学ぶ人にとって学習のよりどころとなる。
  - (2) エスペラントを使う人にとって実用の場を深め、広める。
  - (3) エスペラントを広める人にとって情報源となり、運動の活力となる。
  - (4) エスペラント経歴の深浅にかかわらず、魅力的な誌面構成になるよう努める。

##### 【4.2】雑誌刊行事業の計画

1. 雑誌 (RO誌) を下記のように刊行する。
  - (1) 基本的に、印刷版として、A5判40ページを原則とした雑誌を毎月発行する。ただし8・9月号は合併号とする。
  - (2) 電子版については、個人会員に専用ウェブサイトを提供する。
  - (3) 視覚障害者向けには、印刷版を抜粋した音声版CDを発行する。また点字版の制作に協力する。
2. 編集体制は、毎月の編集部会を中心とし、年1回は拡大編集部会を開く。
3. 各号については、ニュース記事・定例記事・特集記事などの比率、日本語文とエスペラント文との比率を考慮しつつ編集する。特集記事については、本会とエスペラント界の動向を反映しつつ、編集部会で計画する。
4. 他の事業部門との連携により、一部の号を「大特集」ないし「号外」として発行する。(4月に普及推進部と「運動年鑑」大特集、2017年1月に大会組織部と「第103回日本大会報告」大特集)。

#### 【5】図書等刊行・頒布事業 (担当：出版部)

##### 【5.1】基本方針

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行う。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売する。また内外のエスペラント雑誌購読を取り次ぐ。

##### 【5.2】図書刊行事業の計画

1. 出版物として下記を予定する。また具体的な出版物の案がある場合検討する。
  - (1) 第103回日本エスペラント大会記念本として『ダイナミックレイク 琵琶湖から世界へ』のエスペラント翻訳本を刊行する。(【6.2】(7)参照)
  - (2) 第103回日本エスペラント大会記念本として『(仮称) 滋賀のエスペラント』の発刊(リバーロイ社発行予定)を支援する。
2. 今後の出版物の準備計画をする。
  - (1) 『日本語エスペラント辞典(宮本正男編)』の改訂版刊行作業を後藤斉氏編集主幹のもと編集委員会を立ち上げ具体化する。
  - (2) 『エスペラント日本語辞典』は在庫2年分となり増刷計画が必要であり、増刷に関し、意見を集約し具体化する(今回の増刷は誤植を含め最低限の訂正にとどめる予定)。

- (3) 『漢字学習辞典エスペラント語版』（日中韓辞典研究所編集）を出版。
- (4) 『（仮称）瑛九から久保貞次郎への手紙（エスペラント文）』（松本淳・宮崎エスペラント会訳）を刊行する計画を立てる。
- (5) 『日本エスペラント運動史』（初芝武美編）以降の歴史（1969年以降）の編纂について検討する。

### 【5.3】図書頒布事業の計画

1. エスペラント書籍の販売、取り次ぎを行う。委託販売を行う。
2. 「エスペラント相撲」の推奨等を通じて、エスペラント図書の拡販に努める。

## 【6】エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

### 【6.1】基本方針

1. 日本エスペラント大会は、国際語エスペラントの実用と活用及び日ごろの精進の成果を確かめ、発表する場であると共に、エスペラント普及活動を進め、エスペラントを社会に知らせる場である。同時に日本国内外のエスペランティスト同士が交流し、親交を深め、エスペラント界発展の基盤の一つとなるものである。JEIはこのような日本大会を日本各地のエスペランティストの協力を得ながら毎年開催する。
2. 日本大会を各地のエスペランティストの協力を得ながら開催するため、その経験を継承するための書類を整える。

### 【6.2】日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 2016年の第103回日本エスペラント大会を近江八幡市で次の要領で開催する
  - (1) 開催日：10月8・9・10日（土・日・月）
  - (2) 共同主催団体：近江エスペラント会
  - (3) 会場：学校法人ヴォーリズ学園
  - (4) 実行委員会：近江エスペラント会並びに近隣のエスペランティスト
  - (5) 協力団体：（一社）関西エスペラント連盟
  - (6) テーマ：琵琶湖、人、調和
  - (7) 自然環境保護に関して講演会を開き、大会テーマに沿った図書のエスペラント翻訳本を記念品として出版する。
2. 2017年の第104回日本エスペラント大会を横浜市で次の要領で開催する
  - (1) 開催日・会場：11月連休を開催日の第1候補として会場を横浜市内で探す。
  - (2) 共同主催団体：NPO法人エスペラントよこはま
  - (3) 協力団体：神奈川エスペラント連盟
3. 2018年の日本エスペラント大会  
2011年に韓国・ソナム市で開催した大会に引き続き、日本において韓国大会と同時・同会場（共同大会）開催が案として挙がっている。関係者で協議を進める。

## 【7】その他事業及び法人の管理（担当：総務部、財務部、ウェブ管理部）

### 【7.1】基本方針

1. 本協会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員層の拡大を図る。
2. 各事業部門と連携し、事業が円滑に行われるよう支援する。
3. 引き続き本財団の管理方法確立に取り組む。

### **【7.2】 総務部担当事業の計画**

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など）を事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て着実に実行する。
2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を定期的に関き対応する。
3. 図書館関連事業を、ボランティアの協力を得て推進する。
4. 図書カタログは3年ごとの発行とし、2017年度の発行を計画する。販売図書のデータベース整備、電子化の検討を進め、一部実施する。会員には年毎の新刊書を紹介するような方策を検討する。また、図書販売促進のための対策を実行する。
5. 関連事業部と協力し、第101回世界エスペラント大会（スロバキア/ニトラ）へ向けて参加旅行団を企画、実施する。第8回アジアエスペラント大会（中国/福建省泉州市）へはグループ旅行を企画するなど、参加者の便宜を図る。

### **【7.3】 財務部担当事業の計画**

1. 公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支える。

### **【7.4】 ウェブ管理部担当事業の計画**

1. ウェブサイト管理ソフトとしてWordPressを採用した新しい本会ウェブサイトの内容を充実する。
2. WordPressによる本会ウェブサイトのエスペラント版を公開する。
3. 本会関係者が新ウェブサイトへの投稿ができるように支援する。
4. フェイスブックやツイッター等によるエスペラントの広報を支援する。
5. 本会の事業をインターネット技術の側面から支援する。
6. エスペラント界のウェブサイトとの連携を図る。